

## 曲リスト

No	曲名	作詞作曲
1	春だったね	作詞：田口 淑子 / 作曲：吉田 拓郎
2	せんこう花火	作詞：古屋 信子 / 作曲：吉田 拓郎
3	加川良の手紙	作詞：加川 良 / 作曲：吉田 拓郎
4	親切	作詞・作曲：吉田 拓郎
5	夏休み	作詞・作曲：吉田 拓郎
6	馬	作詞・作曲：吉田 拓郎
7	たどり着いたらいつも雨降り	作詞・作曲：吉田 拓郎
8	高円寺	作詞・作曲：吉田 拓郎
9	こっちを向いてくれ	作詞：岡本 おさみ / 作曲：吉田 拓郎
10	まにあうかもしれない	作詞：岡本 おさみ / 作曲：吉田 拓郎
11	リンゴ	作詞：岡本 おさみ / 作曲：吉田 拓郎
12	また会おう	作詞：岡本 おさみ / 作曲：吉田 拓郎
13	旅の宿	作詞：岡本 おさみ / 作曲：吉田 拓郎
14	祭りのあと	作詞：岡本 おさみ / 作曲：吉田 拓郎
15	ガラスの言葉	作詞：及川 恒平 / 作曲：吉田 拓郎

## データ

- ・1972年7月21日 初発売。拓郎26歳。
- ・CBS ソニー移籍第一弾。
- ・2006/04/05 紙ジャケット仕様で復刻。
- ・この年のアルバムチャート第1位を13週間独占。
- ・歌詞カードには拓郎自筆の文章が寄せられている。「自分で自分の言葉をもつのです。その時、フォークなんて関係ないのです。何でもいいのです。」などと綴り、当時の拓郎をとりまく状況をうかがい知ることができる。
- ・この年6月20日に第一夫人四角佳子さんと結婚している。のに、#7「たどり着いたらいつも雨降り」??
- ・アルバム名は「元気です。」とわざわざ「。」をつけており、「モーニング娘。」に通じる?
- ・アルバム名が「元気です。」であるが、「元気です」という曲は収録されていない。
- ・1980年になってアルバム「アジアの片隅で」にシングル曲でもあった「元気です」という



- 歌・・・。「どれだけ歩いたのか考えるよりも、標なき明日に向かって歩きたい」とは自分に言われた気がして、過ぎ去った日々を忘れ明日だけを見て生きていく勇気を与えられました。そして私も「元気です！」と笑顔で答えられる自分を取り戻すことが出来たのです。
- ・春だったねのあの字余りにぶっ飛んだ。ガラスの言葉のスリ - フィンガ - を必死こいてコピーしたものです。
  - ・初めて手に触れた拓郎
  - ・なんていうか・・・わたしの原点ですね。
  - ・たくさんあるけどやっぱりこれでしょう。第1期黄金時代のしめくくりかな？
  - ・やっぱり原点かな・・・。人は、ひとりなんだと感じた時に聞くと、すごく落ち着く一枚ですね。
  - ・初めて聞いたアルバムは「人間なんて」だったのですがちょっと古くささを感じていた。でも「元気です」はカルチャーショックを受けました。「春だったね」や「たどりついたら～」はとても好きです。
  - ・私も初めて買った拓郎のLPは「元気です」でした。中学2年生でした。「まにあうかもしれない」は、人生の節目、節目で歌ってきましたし、「祭りのあと」も何か大きな行事、出来事のあとにギター片手に独り歌いたくなる曲です。
  - ・これも聴いた聴いた。これは2枚持ってます。なんといっても初期の代表作でしょう
- ・あの頃、替え歌がはやっていて、例えば「土方の君は、木綿のふんどし、あつかんしょうちゅうのびん、かかえて、もういっばいいかがなんてみょうにおかまっぼいね。」と山本コ - タローとかが歌っていた。愚かなる独り言のロック版のヨウなのをテレビで歌っていて、かっこよかった。NHKでも歌ってた。
  - ・やはりあのアコースティック感がたまらない。曲目もほとんど駄作がないと思う。そういえば昔、拓郎が言ってましたけど、このアルバムに花酔曲（静：おきざりにした悲しみはのB面）が入る予定だったらいい。入っていれば完璧なのに。
  - ・訳の分からない歌手が出しているベストアルバムより名曲揃い。
  - ・ありふれていますがベストです。
  - ・中学1年の時に初めて買ったたくろうのアルバムです。やっぱり初期のたくろうのベストでしょう。秀作ぞろいです。今聞いてもハマりますね。アコースティックバージョンの「たどりついたらいとも雨ふり」のバンジョーの音が今でも耳からはなれません。ちなみに平仮名の「よしだたくろう」時代が一番好きです。
  - ・他のアルバムもよいですが、どの曲もいい曲という点でこのアルバム。やはり拓郎自身のコメントがいい！
  - ・なんといっても、たくろうにはじめてふれたLPです。ハーモニカの音色がいいんです。
- ・当然かな、コメントなし。
  - ・これなくして拓郎は語れない。手書きのメッセージも最高。でも、馬はいらない。うまーが走ってく…。つい口ずさむけどね。
  - ・中学生の時、毎日何回も聞いていました。特に「間に合うかもしれない」を聞いてそれまであきらめていた高校を目指し受験勉強を始め・・・なんとか本当に「間に合いました」
- ・「馬」でさえアルバムを構成する一要素になっている。 - 三角印(2009年01月18日02時37分20秒)